

札幌市の交通に関する取組の紹介（平成28年度） ～「暮らし」・「活力」・「環境」に寄与する交通を目指して～

●札幌市の将来交通に対する基本的な考え方（平成24年1月）

札幌市では、少子高齢化の急速な進展などの社会情勢の変化や低炭素社会の実現といった課題などを踏まえ、市民の日常生活や経済活動を交通面から支えるために『**「暮らし」「活力」「環境」を重視する公共交通を軸とした交通体系の実現**』に向けて、交通に関する様々な取組を行っております。詳細は札幌市総合交通計画をご覧ください。

☞ 詳細は「札幌市総合交通計画」のページへ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/sogokotsukeikaku/index.html>

●平成28年度に行った主な取組の紹介

◇【公共交通全般】「えきバス・ナビ」の利便性向上

[拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援・観光促進・環境負荷低減促進パッケージ]

★地下鉄やバスの交通案内サイト「さっぽろえきバス navi」がリニューアル

さっぽろえきバス navi とは…

「さっぽろえきバス navi」は、乗継も含めて経路検索、地図上での経路表示など札幌市の公共交通機関を便利にご利用できるサービスです。

PC、スマートフォン、タブレット端末などにご利用いただけます。

<リニューアルの主なポイント>

- 地図上で出発地と到着地を指定して経路を検索できる。
- 交通機関と出発地、到着地までの徒歩での経路・移動時間が分かる。
- スマートフォンの画面に対応したページができ、より見やすく。



スマートフォンによる経路検索

◇【地下鉄】地下鉄駅のバリアフリー化（ホーム柵設置）

[環境負荷低減促進パッケージ]

★地下鉄全駅への可動式ホーム柵の設置が完了

整備概要

ホームからの転落事故や列車との接触事故を防止するため、列車のドアに連動して開閉する可動式ホーム柵を設置

<設置状況>

東西線：平成21年3月 全駅設置完了
南北線：平成25年3月 全駅設置完了
東豊線：平成29年3月 全駅設置完了



可動式ホーム柵設置状況（南北線）

◇【鉄道】札幌駅交流拠点再整備の検討

[都心まちづくり支援・観光促進・広域連携パッケージ]

★札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想を策定

概要

<目的>

北海道新幹線の札幌開業を踏まえ、札幌駅交流拠点先導街区の交通結節点としての機能強化等に対する市の基本的な考え方を整理する。これを基に、今後策定予定の札幌駅交流拠点まちづくり計画や関連事業の整備計画等について、関係する事業者や行政機関との検討を行う。

<札幌駅交流拠点先導街区の役割>

1 世界とつながる国際ビジネス・観光振興のハブ

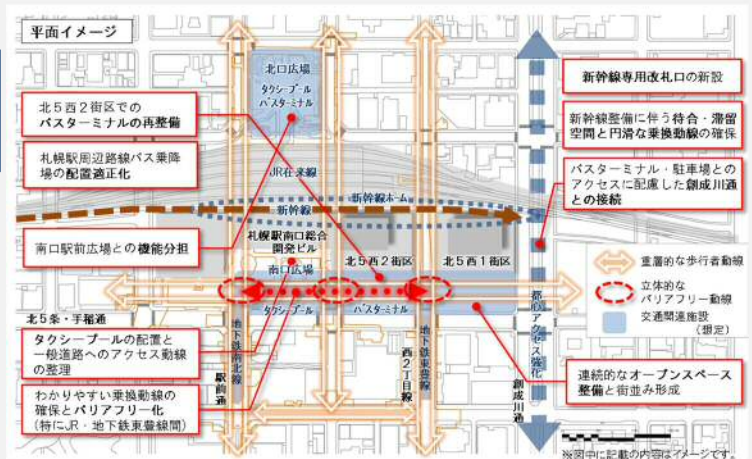
- 国際的に評価される質の高い都市空間の創出
- 安心して働き、訪れ、生活できる信頼性の高いまちの形成

2 都市と自然とが融合した、札幌・北海道のシンボル

- 札幌・北海道を象徴する都市空間の創出
- 環境首都・札幌のシンボル空間として世界へPR

3 都心の回遊・にぎわいの起点となる顔

- 駅と街をつなぐ起点として、誰もがわかりやすく使いやすい環境を創出
- 世界都市札幌の玄関口にふさわしい空間の創出



◇【自動車（道路網）】環状道路未整備区間の整備（西野真駒内清田線、環状通、札幌新道）

[観光促進・広域連携パッケージ]

★平成29年2月3日に盤溪北ノ沢トンネル（道道西野真駒内清田線）が開通

事業概要

事業区間：中央区盤溪～南区北ノ沢
 事業延長：2.8 km（うちトンネル部：1.6 km）
 道路幅員：一般部13m、トンネル部10m

トンネル整備で事故のない峠へ。

安全性の向上 （急カーブ・急勾配の解消）

円滑な交通の確保

災害時の備え

市街地を通過せずに南区～中央区・西区が結ばれ、利便性が向上します。

災害時には、緊急輸送道路として活躍します。



トンネル開通記念式典

